

一 般 質 問 総 括 表

(令和4年6月議会定例会)

No.1

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
須藤典夫	1	豪雪による家屋、作業所等の被害対策について	<p>町内において、昨年の豪雪による家屋や作業所等の一部破損、倒壊などの雪による被害が多く発生しているが、支援策の必要はないか。</p> <p>① 被害実態はどのようなになっているか。</p> <p>② 修繕費の支援を予算化できないか。</p>	
	2	旧小学校3校の利活用について	<p>2校の小学校統合も予定どおり進み、新年度がスタートしている。関係機関の皆様もホッとしていることと思う。</p> <p>さて、空き校舎となった3校について具体的な活用策が見出せないままとなっているが、今後の対応策を伺いたい。</p> <p>① 現時点での活用策は。</p> <p>② 外部からの活用団体等がない場合の管理費はいくらかかるのか。</p> <p>③ 仮称（校舎活用検討委員会）を設置し、特使を迎えるなどして本腰で取り組む考えはないか。</p>	
大場洋介	1	学校給食と食育について	<p>① 学校における食育の推進状況は。</p> <p>② 地産地消の現状は。</p> <p>③ オーガニック食材等の活用状況は。</p> <p>④ 経済的負担軽減のその後は。</p>	
	2	子育て、子ども支援について	<p>① 子どもの視点に立った政策展開は。</p>	

<p>中 村 忠 行</p>	<p>1</p>	<p>学力向上対策と 就学支援策は</p>	<p>① 町長は学力向上対策に力を入れたい考えのようだが、その具体策と効果は。 ② 町育英会の奨学金制度は現状に即した制度となっているのか。</p>	
<p>柴 田 清 正</p>	<p>1</p>	<p>時代の変化、脱炭素化を見据え、地域の活性化、持続可能な町づくりの観点から再生可能エネルギー事業への取り組みについて</p>	<p>原油価格の高騰から、電気料金をはじめ石油製品などの価格が値上がりし、ウクライナ情勢の影響もあり、食品や数多くの日常用品の物価が上昇し、生活を圧迫している状況にある。 また、地球温暖化の影響により、大規模な災害が毎年のように全国各地で発生しており、被害も甚大になっているなか、政府では化石燃料からの離脱、脱炭素化を目指す「2050カーボンニュートラル宣言」を行い、再生可能エネルギーや電気自動車の普及を推進している。 併せて、全国的に少子高齢化、人口減少は地方にとって大きな課題であり、エネルギーの地産地消は持続可能な町づくりにつながるものと考えているが、町としてどのように推進していくのか次の点について伺う。 ① 令和4年度中に「ゼロカーボンシティ宣言」を行うとしているが、いつ頃、どのような形で宣言を行い、脱炭素化をどのように推進していくのか、町長の考えを伺う。 ② 再生可能エネルギー事業に取り組み、関係機関から補助等を受ける場合、具体的な計画を策定しておく必要があると思うが、町長の考えを伺う。</p>	

			<p>③ 再生可能エネルギー事業や廃校利活用など地域資源を活かした事業に取り組んでいく場合、町からの出身者に情報発信を行い、参加を呼び掛けながら町の活性化やふるさと寄附の増加につながるようになると思うが、町長の考えを伺う。</p> <p>④ NPO法人が地域と一体となり、地域資源を活用し、営利目的でない水力発電など再生可能エネルギー事業に取り組んでいく場合、町としての支援策について、町長の考えを伺う。</p>	
<p>早坂憲明</p>	<p>1</p>	<p>持続可能な町づくりについて</p>	<p>① 空き家が急増して集落が弱体化し、町が機能しなくなる時代が想定される。兼業農家が多い我が町において、規模の大小に関わらず、町に与えられた「自然の器、生活基盤の土台」を維持管理、継続するために、老若男女年齢間を問わず地域みんなが参加活躍できる「集落営農」を立上げて、後世に残す必要があると考えるが、町の考えは。</p> <p>② 町の中心部に町民生活の主軸となる「地産地消市場」を構築して、各地域の集落営農で育てた「生産物や加工品」を販売する仕組みをつくり、商店が顔となる取引先から「輸送による直接販売」の仕組みを構築して、いずれ消えてしまうスーパーや商店を見据えて、農業も商業も調和した「独自の町づくり」に取り組む必要があると考えるが、いかがか。また、「地産地消市場」の中か「集落営農」の中で、一人暮らし世帯などへ「食材提供」をするという仕組みを構築して、その組織の中で消防団や冬の生活の間口除雪、雪下ろし、介護福祉、配膳など「自助・共助・公助」により「内堀が循環」する仕組みづくりも今後必要と思われるが、町の考えは。</p> <p>③ 産婦人科医師や小児科医師を町独自で人材を育成して、どの町よりも子供を安心して生み育てられる環境を整えるべきではないか、その考えは。</p> <p>以下余白</p>	